

釜石市スポーツ推進審議会 新規スポーツ施設に係る協議結果について(まとめ)

テニスコート

○市内にテニス場がないことから、中体連及び新人戦は、通常釜石高校や釜石商工高校のコートを借用して地区大会を開催しているが、R5はスケジュールの都合により、隣市で開催した経緯がある。市内中学校での大会が可能になればいいが、整備が整っていない状況。中体連としては早々にテニス場の整備を進めてほしい。

○現中学の地区大会はコート2面あれば大会は成立するが、練習場所も考慮し4面が必要。

○仮に学校に整備しても、夜間等は学校開放施設としても可能と思われる。

○テニス人口が多いのであれば、環境を整えることも必要だが、釜石市の規模に合わせたコート数で整備することがベストと考える。

○市内児童が全国ソフトテニス大会などに出場するなど成果を出している。未来あるこれからの子供達の環境においてサポートしてほしい。

陸上競技場

○陸上競技場もあるに越したことはないが、隣町まで移動30分程度あれば練習なども可能。それに係る移動費として補助するなどの何らかの工夫があればいいと思う。ただ、学校には陸上を練習できるレーンの整備とかは必要と思う。

○競技場の有無に関わらず、中学校陸上大会や、地区大会後の上位大会も無くなっている。現在は通信陸上のみ状況。3年前までの中学陸上の大会は、宮古市陸上競技場でその中学校と合同で練習や大会を行っていた。小学校は、遠野市の陸上競技場の土トラックで大会を実施。このような背景を踏まえ、練習を中心として利用することを想定した場合、公認まで必要は無いと考える。

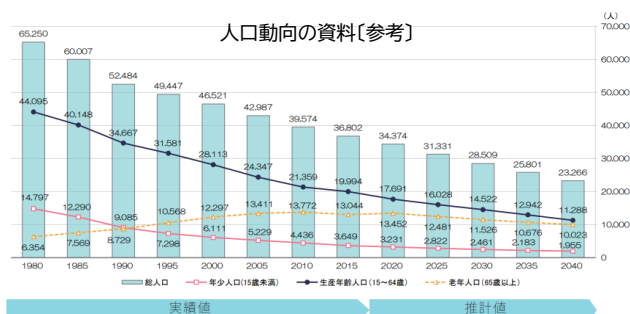
総合意見

○これから新規でスポーツ施設を整備するには、関係団体等は勿論、様々な角度から意見を貰い、皆で理解したうえで釜石に合ったものを作り上げていくことがこれからの時代と思う。

○まずは、既存施設の修繕を計画的に行い、スポーツ環境の維持に努めてほしい。

○いま社会は少子高齢化等の様々な課題により生活環境が大きく変化している。釜石市も10年、20年後にはどのように変化するか、未来をイメージしながら整備に取り組んでもらえれば。

人口動向の資料[参考]



年齢3区分別人口推移では、年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15~64歳)が1960年代より減少し、老年人口(65歳以上)も横ばいから減少に転じていく見込み。国立社会保障・人口問題研究所によれば、2040年には、23,266人まで人口減少が進展するとされてる。

R4策定の第2期スポーツ推進計画内基本目標4において、「市民のスポーツ環境を更に向上させる必要があることから、都度、各種協会及び釜石市スポーツ推進審議会と協議を重ね新たな整備について検討します。」としているが、新規施設に係る審議会からの総意、当市の財政状況、今後の人口動向を鑑み、まずは、既存施設の健全な管理運営を優先とし、以下のとおり方針としたい。

当面の方向性

新規施設の整備

当市の財政状況・著しい少子高齢化・整備箇所確保などの課題や、これまでのスポーツ推進審議会からの新規施設への整備に係る慎重な意見や、新たな施設での想定される費用対効果の面からも慎重にならざるを得ない。今後当市の環境変化により整備実施の可能性も含み「新規施設の整備については、市民や競技者などの意見を踏まえながら、当市の様々な情勢を考慮し優先度を考慮し整備について検討していく。」とする。

既存施設の管理運営

修繕整備が年々増加しており、安心安全な施設環境を提供することを前提に予算の範囲内で適時修繕を行う。今後、競技場の人工芝の張替えなど大規模な修繕が今後生じてくることから財源や整備条件などの課題を解決しながら各種助成金等の活用を前提とし、既存施設の修繕を利用上の不具合発生や部品が枯渇する前に、緊急度や利用状況を踏まえ出来るだけ速やかに進める方針とする。